

(4) 緊急時対策支援システム (ERSS) の機能整備・強化

平成25年度計画-抜粋-

事故状態判断等の技術的支援に関する能力を強化するため、ERSS（緊急時対策支援システム）について分析機能及び運用の改善をはじめ、伝送多重化など伝送システムの抜本的な強化策を講じ、関連する機能の向上を図るとともに、職員の対応能力の向上を図る。また、ERSSの監視・管理の更なる強化を図る。

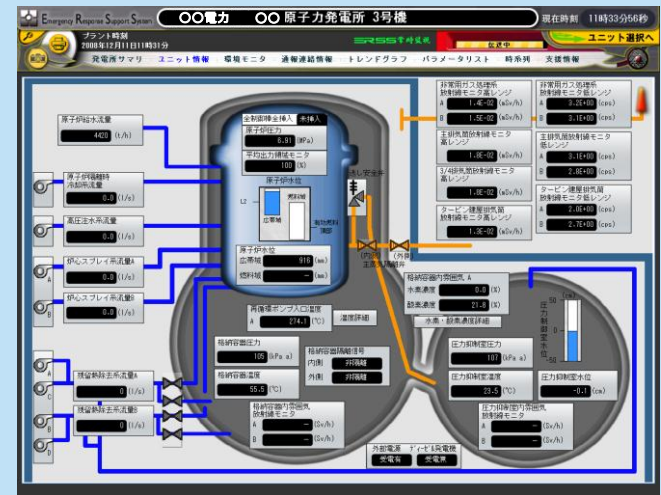
平成25年度上半期の実績（概要）

ERSSの伝送システムの強化、表示機能向上

- 新たに衛星回線経由によるERSSデータ伝送を整備中。9事業者との間で、伝送試験により正常な送信を確認。
- 新たな原子力災害対策指針制定に伴う伝送データ数の増強（現状100項目程度から大幅増の見込み）に向けた準備を開始。

ERSSの24時間常駐者による監視

- 事業者（データ送信元）の計画保守等による停止以外のデータ送信異常を5件検知し、事業者に対応を依頼した。
- また、豪雨による土砂崩れで断線した、もんじゅのERSS機能喪失を検出し対応。



ERSSによる発電所の運転状態表示の例